

## P R E S S R E L E A S E

三菱ふそう

### CACC及びLKA技術を活用したトラック隊列走行の 後続車有人システム実証実験に参加

- CACC※<sup>1</sup>に加えて新たな技術としてLKA※<sup>2</sup>を用いた実験
- 政府の進める「未来投資戦略2018」に基づく実証実験

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:ハートムット・シック、以下MFTBC)は、12月4日より新東名高速道路の浜松サービスエリアから遠州森町パーキングエリア間でのトラック隊列走行の後続車有人システム実証実験に参加します。

当社は2018年1月～2月に実施された新東名高速および北関東自動車道の実証実験、さらに2018年11月実施の上信越道での実証実験に引き続き、12月4日に開始する新東名高速道路での実証実験に参加します。今回の実証実験はCACC※<sup>1</sup>に加えて、新たな技術としてLKA※<sup>2</sup>を活用することを目的としています。LKA※<sup>2</sup>システムの導入により、ドライバーは前後方向の制御のみならず、左右方向での車線維持サポートにより、運転時の負担を大幅に軽減することで安全性向上が期待できます。

#### MFTBCの自動運転技術について

MFTBCは2019年末までに、大型トラック「スーパーグレート」にLKA※<sup>2</sup>を追加した新機能「アクティブ・ドライブ・アシスト」(ADA)を搭載した「レベル2」の高度運転支援機能を導入し発売します。この車両にはADAを始め、進化した衝突被害軽減ブレーキ「アクティブ・ブレーキ・アシスト5」(ABA5)を搭載し、さらに安全性を向上します。

これらの機能は独ダイムラー社と共同開発した最新技術を活用した新機能で、9月の国際商用車ショー(IAA)で受注を開始したメルセデス・ベンツブランドの大型トラック「アクトロス」に搭載する技術を共用します。



トラック隊列走行の実験車両

三菱ふそうトラック・バス株式会社

神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号 〒212-0058 広報部 / Tel 044-330-7701 Fax 044-330-5830

MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS CORPORATION

1-1-2, Kashimada, Saiwai-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa 212-0058, Japan Corporate Communications / Tel +81-44-330-7701 Fax +81-44-330-5830

[www.mitsubishi-fuso.com](http://www.mitsubishi-fuso.com)

- ※1 CACC (Cooperative Adaptive Cruise Control):協調型車間距離維持支援システム  
通信で先行車の制御情報を受信し、加減速を自動で行い、車間距離を一定に保つ機能
- ※2 LKA (Lane Keep Assist):車線維持支援システム  
白線を検知して車線内での走行を維持できるようステアリングを調整する機能

以上

### 三菱ふそう ソーシャルメディア公式アカウント



<https://www.facebook.com/FusoOfficial>



<http://www.youtube.com/Fusoofficial>